

# 本州のてっぺんから まちおこしゲリラ集団がやってくる！

青森県大間町

演題

おもしろがる心が、まちを元気にする。  
…ゲリラ流のまちおこし術

入場無料

問合せ 企画調整係 ☎32-1834

2.25(火) 18:00~19:40  
交流センターみらい



赤平市まちづくり講演会

**プロフィール** 平成12年に大間を舞台にしたドラマNHK連続小説「私の青空」の放送を受けて、かねてより何かまちおこしの活動に取り組みたいと考えていた島氏が仲間と立ち上げた「まちおこしゲリラ集団・あおぞら組」。自ら『おもしろがる』姿勢を大切にしながら、ふるさと大間を発信し元気にしようと、代表的な地域資源であるマグロや本州最北端の地域特性を活かし、地元の人を巻き込みながら活動をしている。

講師

の  
お  
二  
人



組長 島 康子氏

古川 たらこ氏

## 「まちおこしゲリラ集団・あおぞら組」



809 作品の中から見事優秀賞に輝きました。  
第63回社会を明るくする運動  
作文コンテスト

優秀賞 「非行・犯罪」



赤平中央中3年  
佐藤詩織さん

最近テレビなどで事件のニュースを多く目撃します。そしてその事件を起こしているのが10代や20代の若者に多いことにもおどろいています。

そしてこういう事件は半分以上が、人を殺してしまおうという若者自らの人生を失くしてしまつても耳にはしたくないような事件ばかりです。

そもそも、こういうような事件を起こしてしまう若者の約八パーセントから九パーセントは幼い頃親から暴力を受けている、家においても親が家庭放棄している、周りの友達の悪影響、というものである。とあるテレビで言っていました。

そこで私は、どうしたら若者も含め事件を起こしてしまつての人たちが、このような事件を起こさなくなるか考えてみました。その解決法は、子どもと親がコミュニケーションをとる。このことが一番犯罪を減らす要因になると私は考えました。

家族ならそれはふつうの事じゃないか、たしかに私もそう思

います。ですが人はみんなそれぞれであり、それが当たり前じゃない人もいます。だからこそ家族や周りの人から積極的に「コミュニケーションをとる」ことで、一人でも多くの人が事件を起こさずにふつうの人生を送れば、と私は思います。

犯罪を起こしてしまった人は、よほどの罪なことをしない限り、現代ではたったの1~5年、10、20年、30年など、生きていくうちに刑務所から出てくることができます。その出てきた人たちに、その後周りの人たちが、どう接するかで罪を犯した人の人生が決まります。もし、だれもが皆出てきた人をさけるように生きたとします。きつこの人は再び同じ罪をくり返すかも知れません。ですが、周りの人が少しでも優しく接することができれば、この人は、更生の道へと歩んでくれると思います。

ですから周りの人々が協力するべきだと私は思います。

そして平和な日本を築いてほしいです。